

全国からの火山防災対策の取り組み報告

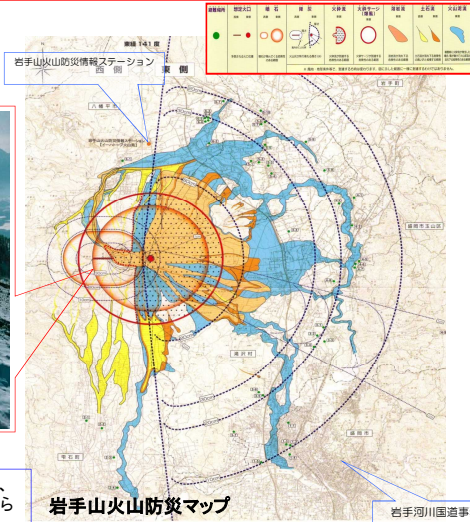
岩手山／岩手河川国道事務所調査第一課

火山災害による被害の防止・軽減を目指して！
岩手山の火山防災対策（砂防えん堤の整備、監視観測・情報共有の取り組み）

1. 岩手山の火山活動



- 岩手山では、1997年頃から火山活動が活発になり、1999年頃には、噴気が発生するなど活発な活動がみられました。
- 岩手山が噴火すると、溶岩流や火砕流などのほかに、火山灰が大量に降り積もる事があり、降雨により火山灰を含んだ土石流が発生するおそれがあります。
- R元年9月現在は静穏な状態が続いていると言えますが、今なお噴火の可能性を秘めています。



効果を発揮（土石流を捕捉）した事例（H25.9）



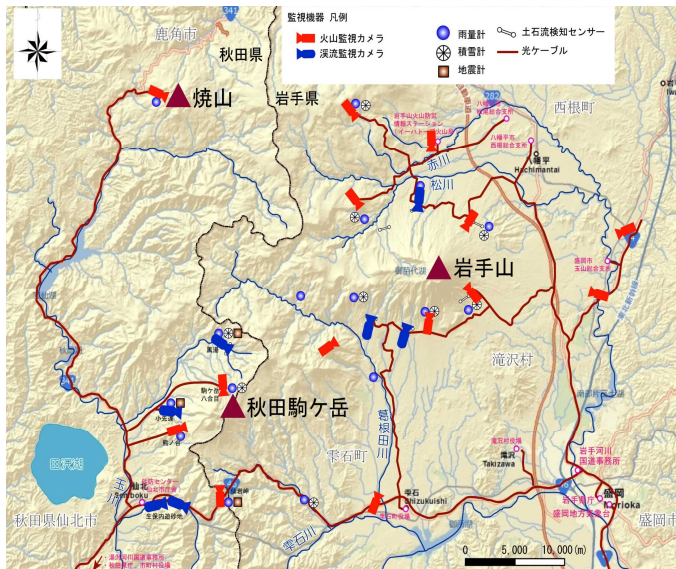
小水無沢第1砂防堰堤

4. 関係機関との情報共有と積極的な情報発信

CCTVや土石流検知センサー等により火山活動状況及び土石流発生状況を常時監視しており、それらの情報は光ファイバーケーブルを通じて関係機関と情報共有を行うとともに、一般の方への情報提供も関係機関の協力をいただき積極的に実施しています。

※地方自治体（岩手県、盛岡市、八幡平市、滝沢市、雫石町）、盛岡地方気象台、NHK盛岡放送局、イーハトーブ火山局、道の駅（石神の丘、雫石あねっこ、石鳥谷、区界高原）

岩手山における監視・観測状況



雨量計
降雨による土石流災害の発生監視を目的に設置します。



火山監視用カメラ
火山活動の監視把握や土石移動現象を監視します。

精密計
融雪型火山泥流及び融雪型土石災害の早期検出を目的に設置します。



地震計
火山活動の前兆現象（火山性地震）を把握します。

土石移動検知センサー
融雪型火山泥流及び融雪型土石災害・噴火後、降雨による土石流の発生状況を監視します。

火山防災情報の継続的な発信

「岩手山火山防災情報ステーション（通称：イーハトーブ火山局）」を設置し、八幡平市とともに情報を発信しています。

- ①火山活動時の災害対策本部（前線基地）
- ②火山の監視・観測情報のとりまとめや情報発信
- ③市町村や関係機関との連携、及び火山防災に関する知識の普及展示コーナー



火山防災学習の取り組み

岩手河川国道事務所では、6月の「土砂災害防止月間」に合わせ、管内の小学生3～4年生を対象に、砂防施設の現地説明や火山災害・防災に関する学習の場として、『砂防堰堤探検隊』を開催しています。

●砂防堰堤工事現場見学



●イーハトーブ火山局見学

